

○議長（川崎和夫君） 1 番 田村 馨君。

○1 番（田村 馨君） 1 番田村でございます。私からは 2 点質問いたします。まず、1 点目は高齢者の運転免許証自主返納者支援について、2 点目は奨学金制度の拡充についてでございます。

まず最初に、高齢者のこの運転免許証自主返納者支援についてでございます。

この件については、さきの 6 月定例会においても、私、質問しておるわけですが、その再質問という形になります。引き続きお尋ねします。

その際の 6 月定例会での私からのこの免許証返納者支援についての質問に対して、吉田生活環境課長からの答弁にもありましたが、現在村が実施している高齢者運転免許自主返納者生活支援事業は、免許返納から 5 年間の限定のサービスであり、永続的な支援は現在受けられません。

また、社会福祉協議会が村の委託事業の一環として実施している外出支援サービスについても、利用できる範囲が村内に限られております。日常の買い物や医療機関への通院といった村民、とりわけ運転免許を返納された高齢者の利用ニーズを十分に満たしておるとは、ちょっと言いがたい部分があるかと思えます。

運転免許を返納してから 5 年間限定の生活支援事業が終了した後の対策について、どのように考えておられるのでしょうか。

そこで、オンデマンド交通システム「コンビニクル」を、さきの 6 月のときに紹介したわけですが、答弁では、オンデマンド交通を含めた対策を検討し、またコンビニクルを運営する業者とコンタクトをとって、無料で実施できるシミュレーションをしていただくとありましたが、その進捗について伺います。

次、2 点目の奨学金制度の件についてであります。

現在、日本の高等教育は、世界でも有数の高学費と言われております。国公立大学の平均授業料は約 8 2 万円、私立大学では約 1 3 1 万円に上ります。さらに、私立大学の、例えば薬学部では、学費だけでも 2 0 0 万円を超える非常に高い学費がかかってまいります。そうなりますと、現状の奨学金制度では不十分になってくるのではないのでしょうか。

ちなみに、OECD 3 4 カ国のうち 1 7 カ国においては、授業料は原則無料であります。そして、返済不要の給付型奨学金制度がないのは、アイスランドと日本の 2 カ国だけあります。ただし、アイスランドにおきましては、授業料は無料となっております。

50%を超える学生が学生支援機構などの奨学金を受け、少なくない学生が数百万円から多くて1,000万円を超える借金を背負って社会に出てくる事態は、この経済大国・日本で……。まさに国のありようが問われる大問題ではないかと、こう思っております。

そこで、お尋ねします。

舟橋村奨学金の対象者を、例えば生保基準の1.2倍など、生活保護世帯と同程度の所得の世帯まで拡大することは可能でしょうか。そして、対象者の拡大を可能にするための基金を、さらに拡大する対策を検討できないか。

以上2点について、私は伺います。

○議長（川崎和夫君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 1番田村議員の高齢者の運転免許書自主返納者支援についてのご質問にお答えいたします。

高齢者の運転免許自主返納につきましては、平成22年7月から、65歳以上の方が運転免許証を自主返納した場合には、月額4,000円を5年間で総額24万円を支給する「高齢者運転免許自主返納者生活支援事業」を実施しており、利用者は、ことし11月末現在35人と、ことしの6月から4人増加しており、今後さらに増加するものと推測されます。

また、舟橋村社会福祉協議会におきましても、平成26年4月より、日常的な買い物代行を行う等の生活支援サービスや運転ボランティアの皆さんによる外出支援サービスを実施しており、それぞれのサービスを利用する方は年々増加している状況にあります。

しかし、議員ご指摘のとおり、村が実施している高齢者運転免許自主返納者生活支援事業は、免許返納から5年間限定の給付金サービスであり、また本村の委託事業の一環として社会福祉協議会が実施している外出支援サービスで利用できる範囲は、道路運送法の諸規定による縛りから、村内に限定されております。

一方で、日常の買い物や医療機関など村外の利用ニーズが高い本村では、十分に充足されているとは言えないと思っております。

ことし6月定例会で議員より紹介のありましたオンデマンド交通の運営事業者会社に連絡をとり、相談をいたしました。運行エリアや諸条件設定、予約を受けるオペレーターの確保、実際の運行会社との調整等は自治体で行う必要があります。それらを村が決定

した上で、運行のシステム管理をクラウド上で行うということをございました。

運行エリアや条件設定について検討いたしました。ご存じのとおり、村内には総合病院や商業施設が存在しないため、村民の皆さんは近隣の立山町、上市町、滑川市、富山市の商業施設や総合病院を利用していることや、それぞれの施設も複数あることから、多様な村民ニーズに対応する乗降場所が想定されますので、ルートを選定することは極めて困難であるとの結論に至りました。

また、現在氷見市で実施しているNPOバスの事例のように、補助金だけでなく、利用者がNPOの会員となり年会費を負担することで、地域でバスを運行し守っていくモデルケースの検討をいたしました。行政人口規模の問題から、本村で実施することは困難でありました。

今後本村におきましても確実に訪れる高齢化の対応に向け、社会福祉協議会をはじめ関係機関と連携を図り、全国の先進事例の調査研究を着実に進め、高齢者支援づくりに努めてまいりたいことを申し上げまして、答弁いたします。

○議長（川崎和夫君） 教育長 高野壽信君。

○教育長（高野壽信君） 1番田村議員さんのご質問にお答えします。

舟橋村の奨学資金について、対象者を拡大することは可能かと、基金をさらに拡大する対策を検討できないかの2点をお尋ねですが、まず奨学金の給与の対象者の募集は、条例、広報、中学校などで案内しておりますが、その条件としては、1番、村民であり高等学校以上に在学していること、2番、身体強健かつ品行方正であって学業成績が優秀であること、3番、経済的な理由により就学が困難な者、4番、在学した学校長または在学する学校長の推薦がある者となっております。

これらの条件を全て満たしている高校生には月額1万円、大学生には月額3万円を給与しております。

議員ご指摘の対象者の拡大は、今申しました経済的な理由の条件であり、例として生保基準の1.2倍など、生活保護世帯と同程度の所得の世帯とありますが、村の算出方法はこれを満たしていると報告を受けております。したがって、村の基準を変える必要はないものと考えております。

次に、基金をさらに拡大する対策についてですが、現在、基金は設けてありません。給与を受ける条件を満たしている生徒及び学生が多数いる場合などは、舟橋村奨学生選考委員会で奨学金や人数などを含めて対応を検討することとしております。

以上で、田村議員さんのご質問に対する答弁とさせていただきます。

○議長（川崎和夫君） 田村 馨君。

○1番（田村 馨君） 答弁、ありがとうございます。

そこで、1番目に質問したこの高齢者の運転免許の返納の件について、もう1点再質問いたします。

ただいま答弁にあった件については、私も十分理解はしております。しかし、今回、この高齢者の、あるいは公共交通に関しては、これで計4回ぐらい質問したと思いますが、今後この村で高齢化社会を迎えるに当たって、ちょっとスピード感に欠けるようなところがあるわけでございます。やはり住民福祉の向上、そして交通弱者の利便性に軸足を置いた村政執行をしていただきたいというふうに感じております。

ずっとこの間も言ってまいりましたが、ドア・ツー・ドア方式によるこのデマンドタクシーというものに関しては、村にとっても経済的であり、また利用者には利便性も高く、住民福祉の向上にも寄与するものと私は考えております。やはりこれは、とにかくやってみなければわからない、そう思っております。

11月に日本共産党の富山県議員団、私も入っておりますが、と県当局との、2019年度富山県予算編成に関する要望協議がありました。この場でもデマンド交通への支援策についてやはり質問が出ておりました。県の当局からは、県内市町村に対して実施されている助成金など、そういった支援制度がありますのでぜひ活用していただきたいと、こういった答弁もありました。

まずは、コンビニクルだけではなく、この公共交通に関してはいろんな方法があります。いろんな方法をまた研究、検討していただきまして、その上で、先ほど言われた運行エリアとかいろんな条件などもあるんですが、そういった課題があれば順次見直して行って、そして次のステップにつながるのではないかと私は考えておりますが、この点についていかがか最後に伺いまして、私からの質問を終わります。

○議長（川崎和夫君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 田村議員さんの再質問にお答えいたします。

オンデマンド交通につきましては、実は中新川でできないかということの検討も1回したことはございますけれども、残念ながら舟橋村のニーズが、富山市内を向いている方が非常に多かったというところから、断念せざるを得なかったということもございました。

しかしながら、ご指摘のとおり、高齢者対策ということで、できるだけ早い段階で取り組まなければいけない。そういうふうな認識はいたしております。最善の努力に努めたいということを申し上げまして、答弁とさせていただきます。